

## 東川町スポーツ賞、文化奨励賞、スポーツ奨励賞

町教育委員会は2018（平成30）年度東川町スポーツ賞に青木拓也さん、文化奨励賞に伴友里絵さん、スポーツ奨励賞に柏原瑞希さんの3人を選考しました。

3月27日、農村環境改善センターで授賞式を行い、青木さん、伴さんが出席（柏原さんはゴルフ大会出場のため後日授賞）。「この賞を糧に、スポーツを通じて子どもたちにいろいろなことを伝えたい」（青木さん）、「町民が絵画に触れ、楽しんでもらえる機会を作っていけるよう、活動を続けたい」（伴さん）と受賞の喜びを語りました。



青木さんは、現在キャンモアスキー学校副校長で全日本スキー連盟教育部スノーボード専門委員。19歳からスノーボードを始め、26歳から選手活動。全日本スノーボード技術選手権優勝など。引退後、全日本スノーボードナショナルチームコーチ、FISスノーボードW杯旭川大会副競技委員長を務めました。

を始め、当時札幌在住のユーゴスラビア出身画家、故ラドヴァン・ボシュコヴィッチ氏に師事。札幌大谷短大美術科油彩コース卒。2010（同22）年、道展初入選以来、連続9回入選。2012（同24）年、純正美術展大賞受賞。町内で絵画教室主宰。

柏原さんは、2017（同29）年3月東川中学卒、同年4月クラーク記念国際高等学校入学。毎年数多くの全国大会などに出場し、優秀な成績を収めています。同年代の中では限りなくプロゴルファーに近く、町出身プロゴルファーの誕生が期待されます。

## 北海道米播種祭

4月15日、東川町農協（樽井功組合長）は（株）東川農業振興公社にて北海道米播種（はしゆ）祭を催行しました。同社は作付け米の種もみを育て、町内の米作農家に成苗ポット苗として配布しています。東川町に道内唯一の神饌田（しんせんでん）があることから、

## ひがしかわ大写真展表彰式

4月6日、文化ギャラリーにて第14回ひがしかわ大写真展の表彰式を行いました。昨年7月から今年2月末までに総勢196名、340点の応募があり、写真の町実行委員会企画委員で構成する審査会が審査しました。



子ども部門は小林小桜さん（ひがしかわ写真少年団）の『雨の日のくもの巣』がグランプリを受賞。笑顔（北橋愛さん（右）とご家族）と一緒に作品と（2番目）から受賞

町民一般部門では北橋愛さんの『落ちやうよ〜!!』がグランプリを受賞。

昨年10月にキトウシ森林公園で「子どもたちがかわいく撮った」写真は、奥田審査委員長から「見た人もそこにいる気になれる楽しい写真。人物配置も小さい子から大きい子になっており構図も良い」と絶賛。

ハッキリしていて素敵」との講評で、会場は拍手に包まれました。

町外一般部門は岡本亜弓さんの『いらっしやい』がグランプリ（今月号の表紙）。大阪府から応募した岡本さんは、写真甲子園2007のボランティアスタッフでした。

第15回は今年7月より作品の募集を開始予定です。



一年の五穀豊穡と農作業安全を祈願し、松岡市郎町長、小林喜一農業委員長ら農業関係の代表6名がビニールハウスにポットを敷設しました。

今年の町内作付面積は、「ななつぼし」「ゆめぴりか」「ほしのゆめ」「きたくりん」の4品種を合わせて約2千116・4畝（昨年比約14.8%増）。

樽井組合長は「平成から令和につながっていく中でも北海道をしつかり作り、愛されるように努めたい」と決意を新たにしました。